
逃走中in金の町

ゲームマスター サイコ・ハロ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

逃走中・金の町

【ISBN】

N4696X

【作者名】

ゲームマスター サイコ・ハロ

【あらすじ】

ポケモン軍がイッシュを侵略後、作者が憲りずにまたもや逃走中開始！果たして逃げ切るのは誰だ！

突然ですが、西エリア逃走者にテッカーンを追加。

逃走者紹介（2人追加）（前書き）

2回以上逃走者を数え間違いをしているのに投稿。全く、憲りない奴である。

逃走者にテッカーンとミュウツーを追加。

逃走者紹介（2人追加）

西エリア逃走者

ルイージ ロクな目に遭わないマリオの弟。だが、何だかんだで愛されているし、主役経験もあり。足はマリオより速い。ミッションは行く。

キノヤマー 結構昔からマリオ達と知り合っているキノピオ。策士でもある男。足は普通より僅かに速い。ミッションは基本行かない。

エスカルゴン DDDの側近の毒舌蝎牛。ドクゼッカタツムリ 足は普通。ミッションは行かないに決まってるでGES（理由、面倒だから）。因みに、マグカルゴとは似てるが関係ない。

のび太 『ご存知元祖ダメガネ（2号と3号は言つまでもない）。足はクッパ以下DDD以上。ミッションはその時による。

ジャイアン 『お前の物は俺の物』で有名な永遠のガキ大将。足はエスカルゴンより少し速い。ミッションは行く。

テッカニン 最強の足を持つポケモン。非常に速度は速くミッションにも行く心算。

静香 ススキヶ原裏のガキ大将と呼ばれる人物。足はかなり速い。
ミッショーンは気分次第。恐らく、と言つた絶対ジャイアンより強い。
何てつたつてペチ！バリバリガリガリと言つ音で某ノ太をボコボコ
にしてるのだから。

安雄 ご存知名脇役コンビの一人。覚え辛い人は『何時も帽子被つ
てる奴』と覚えれば良い筈。足は普通。ミッショーンは目立ちたいの
で行く。

ゲベ 一応猫と思われるが猫かどうかは非常に怪しい。足は速い。
ミッショーンは金が絡まないと行かない。

ワルイージ ガリガリのあいつ。足は体がアンバランスなのでいま
いち。ミッショーンは金が絡まないと行かな（ゝゝ

エルレイド ガブリアスの部下だがいまいち影が薄い。足は普通。
ミッショーンは行く。最近、突つ込み役になりつつある、と言つた完
全に突つ込み役。

ポリゴンノ 不幸な目に遭つた伝説の人々の一族。足は鍛えたの
で結構速い。ミッショーンは金が絡まないと行か（ゝゝ 因みに、『
怨念』と『恨み』と『大地の力』を覚えており、性格もポケダン仕
様なのでとんでもない凶ボケに（ゝゝ さあポリゴンノくん、その

大地の力でクソネズミばかり使ってくる犬畜生を叩き潰せ！頑張れポリゴン！負けるなポリゴン！え、逃走者紹介と関係ないって？それもそうだな……

ドククラゲ 初代では何気に強かつたライチュウの部下。足は微妙に遅い。ミッションは面倒なので行かない。本人はルンパッパを潰せる事をアピールしている。

ゲンガー 今でも中々強いライチュウの部下。足は普通が500としたらゲンガーは53である。ミッションは金が絡まないと行く（r y）

キノピオ 前回から参戦したいたストロングで出てくるキノピオ。足は普通。ミッションは行く。一応突っ込み担当だよ？

キノックル 初参戦のキノピオ。登場作品は『マリオ&ルイージRPG2』、『マリオ&ルイージRPG3!!』。足は微妙に速い。ミッションは行く。

カメリックババ クッパの側近のカメリック。個人的にはエスカルゴンと仲良くなりそうな気がするのは気のせいか？足は遅い。ミッションは基本行かない。

マリオ　主人公（多分）。足は普通。ミッショーンは金が絡まないと
(r y)

ヨッシー 縁の大食い恐竜。足は速い。ミッショーンは基本金が絡まないと行かない。

ライチュウ 作者の小説のメインキャラの一人。足はまあまあと言つた所か。ミッショーンは金が絡まない (r y)

ガブリアス ライチュウと同じく、メインキャラの一人。足はヨッシーと同じ位。前回は裏切り者として暗躍した。ミッショーンは金が絡まな(r y) 後6v。

データクン ガブリアスの部下だがエルレイドと同じく影が薄い。足はのび犬以上クッパ以下。ミッショーンは捕まつたら嫌なので行かない。

ミュウツー ポケモン軍の実質的指導者。足は多分速いと思つ。ミッショーンは多分行かない。

じーさん 一緒に居るとでんぢゃらすな事しか起きない困った人（と言つた本人がでんぢゃらす事を起こす）。足は意外と速い？ミッショーンは金が絡ま(r y)

元校長 ハグミヤコヤ（r.y。足は異常に遅い。ミッションは当然行かない。

DDD プラットフォームの『自称』大王。足は全逃走者の中で最も遅い。ミッションは行かない。

クッパ 『自称』キノコ王国の国民。足はのび太程ではないが遅い。ミッションは面倒なので行かない。

ワリオ メタボのトレジャーハンターであり会社の社長。足はクッパよりは速いが遅い。ミッションは金が絡（r.y

ドラン君 蒼い猫型ロボット。足は体型のせいか微妙に遅い。ミッションは金が（r.y

スネ夫 髪がどうやつたらあんな風になるのか分からない人。足は普通より遅い。ミッションは当然行かない。性格のせいで嫌われまくっているが、作者は擁護しない。

出木杉 クラス1の秀才。何でも家庭教師をしており小学生かどうかも怪しい人物。足は結構速い。ミッションは行く。

はる夫　名脇役コンビの一人。よく分からい人は『一寸小太りの奴』と覚えれば分かりやすいだろう。
足は遅い。ミッショーンはその時による。

キノじい　ピーチの側近。杖をバット代わりに野球に参戦したりして元気なお方。足は遅いがミッショーンは分からない。

ワドルドウ　DDDの部下。エスカルゴンより忠誠心は高いが政権転覆を目論んだ事も。足は普通。ミッショーンはやりたいので行く。
前回は裏切り者の最初の犠牲者となつたが……？

次回、今までとは違うネタ切れ作者が頭を捻つて考えた作者オリジナルのオープニングゲームが始まる！

続く

逃走者紹介（2人追加）（後書き）

次回、新オープニングゲーム！？

オープニングゲーム（前編）（前書き）

オリジナル新作オープニングゲーム開始！？

オープニングゲーム（前編）

金の町と言つ場所に集められた17名の逃走者達……

「緊張するな……」

と言つながら初台詞を華麗に奪つ安雄。侮れない奴である。

『これより、オープニングゲームを始める……上空のモニターに書いてある1~6のトランプが有るだろつ……その内一つはハンター放出のハズレだ……』

ザワ……ザワ……

では、オープニングゲームのルールを説明しそう。

逃走者の上にあるモニターには、1~6までの数字が書かれたトランプがある。

その内、1つは、常にハズレが混ざつてゐる。

逃走者達は、ボックス左横に有る小型モニターから、1～6の数字が書かれたトランプを一つ選択する。

今回は、セーフでも、その場に待機する事になつてゐる。

全逃走者がハズレを引かなかつた場合、2巡回へと突入する。

『しかし、今回このゲームに参加するのは、君達だけではない……』

「えー？」

すると、ハンターボックスの右に置かれていた小型モニターが、突如発光した。其処には、別の逃走者達17人が現れたではないか！

「おい、どう言つ事だよー？」

突然の事態に驚くワルイージ。

「それはコッチの台詞だ！」

マリオが怒鳴り返す。

実は今回、西エリアと東エリアの2つのエリアと、2つのステージが存在する。

双方で、オープニングゲームを行い合い、ハンターを放出させてしまつたエリアが、1stステージとなる。

一方、ハンターを放出させなかつたエリアの逃走者は、無条件で2ndステージへ進める。

ハンターを放出させてしまつたエリアの逃走者達は、55分間の1stステージを逃げ切らなければ、2ndステージへ進む事は出来ない。

130分間の2ndステージを逃げ切ると、漸く賞金444万円が獲得出来る。

因みに、賞金は1秒400円ずつ上昇する。

両エリアの代表である、ルイージとマリオがジャンケンをする。

その結果、ルイージはチョキを、マリオはグーを出し、ジャンケン

対決には東エリアが勝利した。

「ちょ、此処で負けんなよ！」

エルレイドの野次で、西エリアの者達は一斉にルイージを怒鳴る。ブログ等で言えば、炎上状態だ。

勝った東エリアは何故か先攻を選択。

東エリア1人目 クッパ

「引くカードは……3だ！」

ピッ

そのカードの中身は……

『セーフだ……』

西エリア1人目 ルイージ

「間違えてもハズレは引くなよー！」

エルレイドが野次とも取れる発言をする。

「誰が引くか！勿論、選ぶのは4だ！」

「おい、4で死じやねえか！」

エルレイドが怒鳴るも、ルイージはそれを無視して4を選択。

その結果は……

『セーフだ……』

東エリア2人目 ヨッシー

「何を引くんだ？」

ヨッシーに質問するマリオ。

「5です」

ピッ

ヨッシーが5を選択すると……

『当たりだ。アイテムを提供しよう……』

すると、ヨッシーの手に、『双眼鏡』が現れる。

『最大20倍ズームでハンターも見えるぞ……』

「やりましたあー！」

ヨッシーは双眼鏡を手に入れ大喜びしている。

西エリア2人目 安雄

「取り敢えず、無難な2にする」

何故か2を選ぶ安雄。

中身は……？

『セーフだ……』

「な、無難だつたろ？」

全員に自慢する安雄。この後、『何処が無難なのやう……』的な反応をされたのは言つまでも無い。

東エリア3人目 ガブリアス

「何選ぶんだ？」

ドラえもんがガブリアスに聞く。

「6だ」

ピッ

6を選択するガブリアス。果たして……

『セーフだ……』

「よつしやあああーー！」

ガツツポーズをするガブリアス。

西エリア3人目 ゲベ

「俺は絶対1だ！」

人の意見を全く聞かず、1を選ぶゲベ。

ピッ

カードの中身は……

『セーフだ……』

「よつしゅー」

やはり、喜ぶがべ。

東エリア 西エリア
続いて、ドラえもん・ゲンガーもクリア

マリオ・エルレイドもクリア

出木杉・静香もクリア

データクン・ドククラゲもクリア

東エリア8人目 ミュウツー

「私は、5だ」

理由を言わず、5を選ぶミュウツー。

カードの中身は……

『セーフだ……』

果たして、何時オープニングゲームは終るのか！？

続く

オープニングゲーム（前編）（後書き）

先にハンターを放出させてしまつエリ亞はどうちりだー…？

オープニングゲーム（後編） ハンター放出ー（前書き）

やはり短い

オープニングゲーム（後編） ハンター放出！

西エリア8人目 キノックル

「引くのは、5です！」

やはり、何も理由を告げず、5を選ぶキノックル。

カードの中身は……

『セーフだ……』

東エリア8人目 DDD

「そりゃあ大王は1に決まつとるゾー！」

やつぱり1を選ぶDDD。

果たして……

ガシャン！ ガコン！ プシュー！

モニター越しに下品に笑う作者。

西エリアは歓喜に包まれる。

一方、東エリアは……

「何でこうなるONY!?

やはり、標的はDDDだ

「前回みたいにひとつと捕まれ！」

一一一！！

ポンッ

「oh・no!」

1stステージ残り時間54分39秒 DDD確保 残り16人

ブルルルルル ブルルルル

「早速メールだ……『ゴールドタワー噴水前でDDD確保、残り16人』早速捕まつたか……」

何とか4体のハンターから逃れたマリオ。

此処で、東エリアの説明をしよう。

東エリアには、地上300m、43階立ての『ゴールドタワー』と呼ばれる如何にも悪趣味な金の塔がある。

ゴールドタワー前と、公園には巨大な噴水が有り、町のシンボルとなっている。

エリア別に纏めると、タワー・エリア、住宅・エリア、巨大商店街・エリア、新興住宅・エリアの4つのエリアが有る。（商店街・エリアの長さは、某 の 商店街程度である）

真、王の圧政に反抗した住民により、新興住宅・エリアは現在バリケードにより封鎖されている。

因みに、新興住宅・エリアは住宅・エリアからのみに入る。

「ん？あれってバリケードだな……」

バリケードを見つけたガブリアス。

では、誰が何処に行つたかを纏めて見よう。

タワー

データクン はる夫 クッパ ドラえもん

商店街・エリア

マリオ ワリオ ヨッシー ライチュウ スネ夫 元校長

住宅エリア

ガブリアス 出木杉 ミュウツー キノじい ワドルドウ

以上だ。

その頃、西エリアは……

「良かつたでゲス……やつぱり陛下が引いたでゲスな……」

内心DDDを嘲笑うエスカルゴン。貴様それでも部下かNOY!?

其処へモニターが……

『俺だ、サイコハロだ。この55分間暇だらうから、コーヒーとホットケーキでも持つて行こうと思つてる。コーヒーは砂糖付きかブラックか無糖か選べるぞ。ブラックに砂糖付きつてもOKだ』

西エリアから凄まじい歓声が挙がる。

因みに、コーヒーは砂糖付きが2人、ブラックが7人、無糖が4人、
ブラックに砂糖付きが1人だった。ブラック大人気だなおいw

「ブラックコーヒーは旨いでゲスなあ……」

絶妙な味付けにジーンと来てるエスカルゴン。

こんな人達を書いていたら逃走中では無く珈琲中なので、話を元に戻す。

「何でコッチが出したんだろうな……? 向こうにはのび犬が居るのに……」

ガブリアスは何故相手が1stステージを免除されたのか理解出来ない。

「何でコッチが放出されるんだよ……普通放出されるのはのび犬が居る西側だろ!」

滅茶苦茶な理由で怒るドラえもん。

其処へ、黒い影……

「あの蒼くて達磨の様な体……ドラえもんかー。」

見つかつた

「ゲツ、ハンター！？」

ハンターの黒い姿を見たドラえもんは直ぐに逃げる。しかし、その差は徐々に縮まって行く……

しかし

「チュウ」

鼠だ

鼠を見つけたドラえもんは129・3kmで逃げて行った……当然、ハンターを振り切った。

「！？」

突然の事態にハンターも驚きを隠せない。これがギャグ漫画だったら確実にグラサンを突き破つて田が飛び出でただろう。

「何とか逃げれたぞ……」

ドラえもんは息を切らしている。

「兎に角、糞ハンターを撒けて良かつた……」

鼠は兎も角、ハンターを撒けた事に一先ず安堵している様だ。

果たして、誰が逃げ切るのか！？

続く

オープニングゲーム（後編） ハンター放出！（後書き）

次回、4話目にして遂にミッションが始まるー。

//シシラノー part 1 (前編)

4話目で漸く//シシラノン発動！

//ミッション1 part1

今回は行き成りこんな所から始まる……

<??:??:>

「作者に感想返信を任せられたせいで何時もの3倍忙しいぞ……！」
兎に角、最初のミッション行くか！』

ピッ

サイコハロがモニターをタッチすると、エリアに6体のハンターボックスが出現した……

プルルルルル プルル プル

メールだ……

「確保情報か……？」ミッション1 エリア内にハンターボックスを6つ設置した。残り40分になると、6体のハンターが放出され、ハンターは10体となる『行き成りミッションぶつけてくるとかwまあ俺は行かないけどw

「『阻止するには、2人で同時にハンター ボックス横のレバーを下ろさなければならない。但し、6つの内3つは封鎖されている新興住宅街エリアに有る為、塔で王から物体転送装置で税金を受け取らなければならぬ』『面倒臭すぎワロタw』

マリオとガブリアスがミッションを読み上げる。しかし……

「『直、1stステージで放出されたハンターは2ndステージにも引き継がれるので気をつけたまえ!』『どう言つ事だよ!』

ミッション内容に西エリアのメンバーは激怒。

ミッション1 ハンター放出を阻止せよ!

サイコハロにより、エリアに6体のハンター ボックスが設置された。残り40分になると、ボックスからハンターが解き放たれ、ハンターの数は合計で10体となる。阻止するには、2人でボックス横のレバーを下ろさなければならない。しかし、6つの内3つは現在封鎖されている新興住宅エリアに設置されている為、王から税金を受け取り、バリケードに持つて行かなければならない。これだけならまだ良い、何と、この1stステージで放出されたハンターは2ndステージにも引き継がれる為、西エリアの17人にとっても他人事では無い。

「東のメンバーは金絡まないとミッション行かない奴が多いから2、3体は確実に出るな……それにしてもコーヒー貰めえ」

ブラックコーヒーを飲みながら勝手に分析を開始するキノヤマー。

「「「「激しく同意」「」「」」

静香、ジャイアン、ドククラゲ、ゲンガー、ホールレイドがキノヤマーの意見に賛同する。

それを見ていたこの男は……

「こんな状態で大丈夫なのか？まあ俺も3体位出ると思つが……」

恐らく、安雄は今回の突っ込み役になるだろ？。と言つかこれはコメディーですよ。

その頃、東エリ亞では……

「//ミショニビリシヨウか……取り敢えず行つとくか……そうすれ

ば少しは有名になれるかもな……」

はる夫はミッションに参加する心算らし。

「先ずは王から税金を貰いに行こ。……」

出木杉は塔へ急ぐ。

しかし……

「ミッション? 何それ美味しいの?」

「うえもんはミッションに行く気ゼロだ。全く困ったロボットである。

「ミッションか……勿論私は行かないぞ」

ミュウツーも行かない宣言である。コッチの逃走者は全く

更に、ワリオ、ライチュウ、クッパも行かない宣言。お前等W

「ついで、キノヤマーの言つ通りかと思ひました……」

「これはイメージアップと認知度上昇的な意味で行くべきだな……」

「データクンはミッションに行く様だ。この男、金にがめつくな……

「私も一応ミッションに行こうと思ひます。前回は直ぐに捕まってしまいましたからね……」

前回は裏切り者の最初の犠牲者となつたワドルドウ隊長。リベンジなるか。

「ミッションか……一応ハンターが増えたら困るじゃつて置くか……」

汚名返上の為かどうかは知らないが、スネ夫もミッションに行くらしい。

一方、西エリアは……

「しかし、向こうのエリア誰がミシショントくんだよ……？」

自分達の事を棚に上げてポリゴンＺがモニターを見ながら東エリアを批判する。まさに『お前が言つた』。

「全くでゲス」

エスカルゴンもポリゴンＺに便乗する形で東エリアを批判する。

すると……

『お前等な、人の事言える立場か？そつちにも金絡まないと（トコ）な奴居るのによくそんな事が言えますなあ』

バカにする様な口調でサイコハロが西エリアにダメ出し。

「それを言つたな！」

エルレイドがサイコハロに突っ込む。

それに呆れたのか、サイコハロからの返事は来なかつた。

「まあ、兎に角東エリアの連中にはハンター放出を阻止して貰うとするでゲスか」

ダメだこいつ等、完全に見物モードである。尤も、そんな事は……おつと、誰か来た様だ。

では、東エリアに話を戻す。

「ミッション？俺様は金が絡まない限りミッションには行かんぞ！」

メタボ社長ワリオは勿論ミッションに行かない。

「ワガハイは勿論ミッションには行かないのじやいー！」

クソッタレ元校長。

其処へ……

「捕まるペースが前回より遅い気がするな……」

ハンター……

「わしだけが逃げ切るに決まってるんじやいー。」

大声で叫ぶバカ校長。

「元校長かー！」つは直ぐに捕まるぞー。」

ハンターだ……しかも見つかっている……ww

「ギャヒヒヒヒー！ハンターーー？」

元校長は急いで逃げるが、時既に遅し、最早逃走不可能……

「ギャヒヒヒヒー！..」

ポンッ

1stステージ残り時間49分54秒

元校長確保

東エリア残り

15人

「そ、そんな筈は……」

校長らしい確保のされ方だ……

プルルルルル プルルルル

「メールか……『商店街エリアにて元校長確保、残り15人』早速
校長が捕まつたぞ……www」

じーさんは内心元校長を嘲笑う（ゲベも嘲笑つていたらしい）。

「あんな奴捕まつても影響何か無い……急ごう！」

何気に事実を発し、スネ夫は塔へと走る（実はスネ夫は喧嘩でのび犬とのタイムン勝負で圧勝してますよ）。

その2分後、真っ先に塔に到着したのは……

「良し…」

出木杉だ……

「櫻井…」

出木杉は急いでエレベーターに乗り込み、最上階へ向う。

「着いた……此処か！」

エレベーターを降りると、其処には巨大な装置が有った。

出木杉は装置を起動させ、王と話さうとする。

「あの……税金を畠代ひよつと済つて来たんですけど……」

装置に居る王に話し掛ける出木杉。

「おお、本当か！我々が言つても住民に追い返されるんでな、頼むぞー。」（演、ゴジラ・ハロ）

ゴッドハロ演じる王は出木杉の頼みを承諾、早速税金の入った袋を出木杉に届ける。

「有難う御座います！」

再び、出木杉は住宅エリアに向けて走り出したのだった……

その頃……

「お、此処だな！」

はる夫とデータクンが何時の間にか合流していたのだ。2人は装置を見つけ、早速レバーを下ろす。

ガコン！

ハンター封印 残りボックスハンター5体

はる夫とデータクンにより、1体のハンターが封印された。

ミッション残り時間は6分27秒！

果たして、全てのハンターを封印する事は出来るのか！？

続く

//シシアノー part1 (後編)

◀西ヒリアトーグ▶

ヘルレイド「これ間に合つのか?」

ゲンガー「敢えて言おう、間に合わないとい...。」

//シシアノ1 part2 (前書き)

金田にての逃走者が多い東エリアの逃走者はハンター放出を阻止出来るのだろうか?

//シ・ショノ1 part2

「私の読みでは商店街エリアに一つボックスが設置されただろ？だから住宅エリアとタワーに設置されてると思つんだよ……多分税金届けに行くのは出木杉辺りがやつてくれてると思うから私達は2つのボックスのハンターを封印すれば良いんだよ」

長谷川で血の考へをはる夫に語るユータクン。

「成る程……じゃあ早くハンター封印してしまおうぜ」

と言ひ事で2人は商店街から近い住宅エリアに向う（因みに、住宅街からタワーまではおよそ900m。其処、長いとか言わない）。

その1分55秒後……（2人共走るの早すぎと言ひ突っ込みは無しで）

「着いた！」

ガコン！

ハンター 封印 残り4体

「ミッション終了まで、残り4分

「不味いな……後4分で4体封印しなきゃならんのか…………」

データクンは少し焦り始めるが、急いでタワーへ向つ。

その頃……

「着いた……」

バリケードが張つてある場所に到達した出木杉。

「これ、王が渡してくれって……」

早速出木杉は税金の入つた袋を渡す。

「ああ、遂にあのクソッタレ真っ赤つ赤1頭身王も改心したか！」

何気に暴言を吐きながら、バリケードを開け、逃走者の通行を許可

する。

「良し……」Jの事をメールで伝えよつ……

出木杉は凄まじいスピードでメールを送信する。

「ん、新興住宅エリアの通行止めが解除されたのか……行くか！」

バリケードの近くで待機していたスネ夫は出木杉からのメールを見ると同時に走り出す。

その24秒後……

「お、スネ夫じゃないか………急いでー装置は田の前だ！」

スネ夫と合流した出木杉は、300m先に有る装置へ向け走り出す。

ミッション終了まで、残り2分

「行け！」

ガコン！

ハンター 封印 残り3体

「後3体か……頼むぞ！」

新興住宅エリアに進入した出木杉とスネ夫は、装置を探して再び走り始めた……

一方……

「有つたぞ！」

出木杉とスネ夫が頑張って居た頃、データクンとはる夫はタワー40階で装置を見つけて居た。何故見つけたかは割愛。

ガコン！

ハンター 封印 残り2体

「これで3エリアのハンター封印は終つたか……一応メールで伝え
て置くか……」

念力でメールを打ち、データクンは東エリアの全逃走者に送信。

「お、出木杉、3エリアのハンター封印が終つたらしいぞ！」

走りながらメールを読み、その内容を出木杉に伝えるスネ夫。俺にはそんな事無理w

ミッション終了まで、残り1分30秒

スネ夫がメールを読んだ30秒後……

「な、何とか辿り着いた……」

2人共息を切らしながら到着。

「「おりやああ！」「

ガコソ！

ハンター封印 残り1体 (ミッション終了まで、残り45秒)

「で、出木杉……45秒でハンターを封印する何て無理だ……もう諦めよ!」

「ああ……」

勝手に最後のハンター封印を諦める2人だが、彼等は十分頑張った方なのでまあ良いだろ?……

ミッション終了まで 10

1 2 3 4 5 6 7 8 9

0

遂に、ハンターが1体放出され、その数は5体となつた……

プルルルルル プルルルル

「メールだな……』出木杉、ドータクン、はる夫、スネ夫の活躍によりハンター5体が封印された。しかし、ハンターが1体放出され、その数は5体となつた』誰だよミッショソサボつてるのは……」

マリオがミッショソ不参加者へ文句を言つ。ミッショソ全く行つてないお前が言うな！

この結果に西エリアは……

「役立たずだな……東エリアの連中は！」

自分達の事を又もや棚に上げ、東エリアの15人に文句を言つゲンガー。もう突つ込む氣力も起きねえよ……

「やつぱりハンターが放出されたでゲスな」

最初から諦めムードだったエスカルゴンは上の様な反応をする。

「それもそつだがよ……俺の予想では1stで生き残るのは3、4人位だと思うんだよ……」

突然1stステージ突破者の数を予想し始めるポリゴン。

「成る程な……俺的にはマリオみたいなミッション行かない奴程生き残ると思うんだよ……」

エルレイドも独自の予想を展開。まあ、本家でもそつ何ですけどね。

こりして、西エリアのメンバーがコーヒーを飲みながら1stステージ逃走成功者の予想をして居た頃、東エリアの逃走者は……

「何で1体放出されるんだよ……役立たずだな……」

ミッションに全く動いていないガブリアスが5体封印に貢献した4人に腹立つている。ミッション行つてないお前が言える事じやないだろ！

それを見ていたサイコハロは……

↙ ↘ ↙ ↘ ↗

「まさか此処まで逃走者が自分勝手だったとはな……実際に呆れた！」
「わざわざ以上言葉も出ない！」

完全に呆れていた。

その頃……

「 もハリシシヨンは勘弁してくれ……」

物陰に身を潜める二人組のテヅな方、はる夫。

其処へ、黒い影……

「 中々見つからぬいな……」

はる夫の周囲を捜索している……

「ヤバい！ハンターだ！」

抜け道の様な所に隠れていたので、はる夫はハンターの姿を見るや一目散に逃げ出す。当然、ハンターもはる夫を見つけ追跡。

「は、早い……」

しかし、はる夫の走るスピードは徐々に下がつて行き、ハンターとの差も縮まって行く。最早逃走不可能……

「ぐわああああああーー！」

ポンッ

1stステージ残り時間38分37秒 はる夫確保 残り14人

「400万がああああーー！」

はる夫はショックでその場に倒れ込んでしまう（因みに、はる夫はスタッフが頑張って抱いで牢獄に放り込みました）。

プルルルルル プルルルル

「またメールか……『住宅間の抜け道にてはる夫確保、残り14人』
はる夫が確保された所で然程損害は無い」

はる夫が捕まつた所で何とも思つていな」「ミュウツー。

「はる夫が確保されたか……まあ良いだろ」

「ドラえもんもミュウツーと同じ様な考えだ。お前等最低だな！」

<? ? ? >

「ドラえもんとミュウツーは最低……と。まあ、それがこの小説の
醍醐味何だがな……わて、次のミッションはどうするかな……」

ミッションに悩んでいるサイコハロ。

其処へ……

「次のミッション、私が考えて見せましょう。」

サイコハロの前に現れた人物とは！？

その招待……じゃなくて小隊……でも無くて正体は次回明らかになるので続く

//シシヨン1 part2 (後編)

おまけ 西ヒリア逃走者の一言

ルイージ「兄ちゃん全く//シシヨン行く気無いな……弟として恥ずかしい……」

//シニア2 part1(前書き)

久しぶりに投稿。お待たせしました。

「何だ、か……」

サイコハロは、が来た事に少しがつかりしている。

「落ち込むとはどう言つ事で？鬼に角、今回の//シションはこれで行きまじゅうや」

すると、サイコハロは『賞金単価』と書いてある所をタッチした……

プルルルルル プルルルル

「またメールかよ……』//シション2、新興住宅エリアとタワーH
リアに賞金単価減額装置を設置した。残り25分になると1秒の賞
金単価は200円となってしまい、最終的な賞金は258万円とな
ってしまう。阻止するには、『金が絡まないと//シジョンには行か
ない』者同士で装置のレバーを下ろさなければならぬ。真、1台
しか装置を停止出来なかつた場合は、1秒の賞金単価は300円と
なる『これは行かねばならん！（こぞと言つ時には誰かを道連れに
してでも）』（b yマリオ）

サイコハロにより、新興住宅エリアとタワーホリアにお馴染の賞金単価減額装置が設置された。残り25分になると1秒の賞金単価は200円となつてしまい、最終的に獲得出来る賞金は258万円となる。これを阻止するには『金が絡まないとミッションには行かない』者達2人（例、マリオ）で装置のレバーを下ろさなければならない。因みに、1台しか装置を停止出来なかつた場合の1秒の賞金単価は300円となり、賞金は351万円となる。

「これは絶対行くぞ！」

2828笑いながらガブリアスは新興住宅側の装置を目指す。

一方、ミッションの内容を見た西エリアは……

「これは楽勝でゲしょう。向こうには頭の中が金で一杯の奴が沢山居るでゲスからな」

エスカルゴンはミッションを楽勝と見る。

「全くだ……」

ゲンガーもブラックコーヒーを飲みながらエスカルゴンの意見に賛同する。と言づか、お前が言づなゲンガー！

「そんな事言つてたらまたナレーターに突つ込まれるぞ」

キノヤマーがゲンガーに突つ込みを入れる。

「まあな……別に俺はナレーターに突つ込まれても特に気にしないし、良いんだよw」

ゲンガーは突つ込みをどうでも良いと思つている様だ。

「何か趣旨ズレてませんか？後無糖コーヒーとホットケーキお代わり頼む」

此処ですかさずエルレイドが突つ込みを入れる。

「あ、俺の台詞！」

安雄は先に突つ込まれた事を悔しがつてゐるが、そんな事悔しがら
れても困る。

すると……

「お代わりだ

雑用担当のリグ・リングがエルレイドのお代わりを持って来た。

「お代わり早っ！」

エルレイドは1分でお代わりを持つて来た速さに突っ込みながらも、ホットケーキを意外と上品に食べる。ワリオやジャイアンにはこの食べ方は無理だろうwww

さて、そろそろ話を戻そう。

「これは私が動く必要は有りませんね、と言つか私は動けませんね……マリオさんの様な人何てこの逃走中に山程居るんですからクリアは楽勝でしょう

ヨッシーはクリア楽勝と予測する。

一方……

「ハリマの立派な腰が仕掛けられてるからな……」

「ハリマシードラッシャーと並んでショーンの腰を警戒。」

「俺はタワーに向つてあるか……」

「俺もタワーへ向づ。此処からなら近づくな。」

「ライチュウもタワーの装置へ急ぐ。」

「その頃、サイロハイは……」

「……ハイ。」

「やはりな……早々クリアをされても面白くないし、こんな腰を仕掛け見るか……」

すると、装置前に『暗証番号入力装置』が設置され、装置は扉で閉ざされてしまった……

勿論、東エリアの逃走者はその事を知らない……

それを見た西エリアの逃走者達は……

「サイコハロもやつてくれるでゲスな……」

エスカルゴンが悔しがる表情でモニターを見つめる。

「全くです……やつぱりこの逃走中なめてたよ……」

キノックルがサイコハロの嫌がらせにビビる。

「だろ？ 大体ナメてたら口クな目に遭わん……」

エルレイドが答えると……

「やつぱり作者って本当に俺達を嵌めよつとしてるよな……取り敢えず俺達はゆづくじ出来て良かつたが、賞金減額は何としても止め

て貰わないとな……って同じ事何回俺等言つてんだw

ポリゴンNがノリシッ パリをあ。

「トモ糞一ノリシッ パリせもつと上手くやれー。」

ゲンガーに突っ込まれるポリゴンN。

こんな事書いていてもキリが無いので(ry

〈東エリア 新興住宅街〉

「確かにマリオは住宅街の方に居るってメールで言つてたな……俺も向うとするか……」

ガブリアスは装置へ急ぐ。

一方……

「これは動かざるを得ないだろ……でもまあ、作者の発想力は少しはあるらしいな……でも、このメンバーにこのミッションは楽勝過ぎるだろ……多分な」

ライチュウはこのミッションに何か裏があると探る。

「多分どっかにもう2人が行つてると思つんだよ……先ずマリオ辺りにメール送るか」

妙に携帯メールを打つのが早いライチュウだが、突っ込んではいけない。既に装置に向つてそうな方々にメールを送ると、次の様な返事が返つて来た。

『今住宅街の装置前に居る。ガブリアスが今コッチに向つてるから多分大丈夫』（マリオ）

『住宅街装置まで激走中！』（ガブリアス）

『俺様はお前辺りが動いたら動くぞ！』（ワリオ）

『何かさつき（マリオから住宅街の装置に居るつて言つてたからタワーの方に行きたいんだけど前にハンター居るから無理』（ドラえもん）

との事。

「成る程な……作者が内容増加させようとしてるのが目に見えるてるぞ……つてこの台詞もそつじゃねえか……兎に角、マリオとガブリ

アスには早く装置の電源を切つて貰おう……」

ライチュウがクリアを願つてゐる頃……

「何だよこれ！よく見たらロック掛かってるじゃねえかよ！チキシヨー！簡単と見せてこんな事になつてたとは…してやられたか！」

マリオが漸く暗証番号によるロックが掛かっている事に気付く。若しかして頭はあんまり宜しくない？（本人が言うには大卒らしいが

……嘘臭い）（オリ設定です）

「何だよ、マリオ、これロック掛かってるのか？じゃあ番号を探す必要があるな……面倒臭せえええええ！」

ガブリアスも事実に絶叫する。

「兎に角、何処かで暗証番号を探すしかないな……トホホ……」

マリオはこの事をメールで全員に伝え、ガブリアスと共に暗証番号を探しに行くのだった……

それを見ていた作者は……

「今頃マリオは暗証番号の事に気付いたか。絶対ルイージの方が頭良いだろ……今度テストしてやれ……まあそれは兎も角、西エリアの連中の様子も探つて見るか……」

作者が言つ様に、西エリアの17人は……

「ん、あそこには書いてある紙って暗証番号……や……」

安雄がモニターに映っているマンションに貼つてある紙を見つける（因みに、そのモニターには誰も移っていません）。其処には『429730』と書かれていた。恐らくそれが暗証番号だろう。

「すげえな安雄！俺も気付かなかつたぞ！」

エルレイドが安雄を褒める。

「それにしてもクッパ様は何をやつておられるのか……

何もないクッパに呆れるカメックババ。

「兄さんの頭の悪さには呆れたよ……もし逃げ切つたら『頭の冴える本』でも買ってあげようかな……それとも『大人気！漢字数学100問ドリル！』にしようか……でも2つともそんなに高くないからこの逃走中が終つた後に買おつ……」

密かに本購入計画を立てているルイージ。

「ねむ、置つてやるのが良いんじゃないのか?」

それに賛成する安雄。

「そう思つてくれる人が居て僕は嬉しいよ……」

ルイージは安雄が自分の考えに賛成してくれた事を喜ぶ。

さて、こんな事が西エリ亞で起きていた頃……

「暗証番号を探せー? メンドクセヒヒヒヒー!」
と、ライチュウが絶叫した所で、次回に続く

//シニア part2 (前書き)

皆様の「期待に応え、あいつが捕まります。」

ミラクルコンサルタント part2

「まあ、金の為ならやるしかないな……不本意だけだ」

渋々ドリえもんは暗証番号を探しに行く。

其処に

「チュウ」

ネ
ズ
ミだ。

ド ラ エ モ ん は は れ メ タ
も ビ ッ ク リ の ス ピ ー ド で 鼠 か ら 逃 げ て 行
つ た . . .

۷

嘘は嘘いた口が塞がらない。

その頃.....

「お、マンションに書いてある『429730』が例の暗証番号じやないのか？」

「マリオが安雄の『429730』とメモ帳にメモる。

「だな。取り敢えず所持品のメモに記して置こう。」

2人は429730とメモ帳にメモる。

「これ、死に苦名符って読めるな……何か深い意味でも有るのだろうか……」

「この暗証番号に何か意味が有ると読むマリオ。

「まあ、42は兎も角9730は適当だな」

ガブリアスは何も意味が無いと言つ。

「まあ、そんな事どうでも良いから早く戻りつけ」

と語り訳で、再び装置を手指すのだった……（道に迷つたりしませんよ）

ミッション終了まで 残り14分

その頃、W社長は……

「畜生……ハンターのせいで動けねえじゃねえか……」

と、隠れて何処かへとハンターが向うのを待つワリオ。

しかし……

「そりは問屋が卸すかよ！」

見つかった……

「なにいいい！？俺様は金の為に此処まで来たんだ、捕まる訳にはいかああああああああん！！」

何と、肝心なタイミングでワリオの必殺、ワリオツペが炸裂し、オナラパワーによる凄まじい勢いでワリオは逃げて行つた……

「ゲエエエエエ……」

ハンターはあまりに臭かつたのでゲ を吐いてしまつた様だ。

それを見た西エリアのメンバーは……

「ちょ~~~~アリエナス~~~~~」

と大爆笑するポリゴン。

「前からやるとは思つていたが、遂にやりやがつた~~~~」

とワルイージも大爆笑。

「あ、ありのまま今起こつた事を話すぜ……ー」

とかエルレイドが言い始めたのでそれは省略。　おい！

「ハンターにゲ　をやせるとはワリオさん恐るべしー私も気をつけないと……」

キハピホはビビッてる……

「ありやあ放送禁止物でゲしちつが、作者はそんな事気にせずに放送しまくるでゲしうな……」

エスカルゴンは「一ヒーを飲みながらそつ解析する。

とまあ、西エリ亞はこんな様子だったとぞ。

では東エリ亞の様子をどうぞ。

「僕ちゃんはお金が減つても痛くもかゆくも無いから//シショーンに
は行かないよ」

スネ夫……もといスネ悪、でも無くスネ夫は余裕ぶる。

其処へ……

「おお、あの変な頭がスネ夫か……大して足も速そつじゃないし、
あいつを嫌ってる人も多いから、捕まえれば俺の評判も上がると言
う物よ……」

ハンターだ……

「ゲツ、あれってハンター！？」

スネ夫もハンターを見つけ、走る。

「お前を捕まえれば俺の評判は上がるんだよー！大人しく捕まれ！」

ハンターは滅茶苦茶な理由でスネ夫を追跡する。

スネ夫は逃げ続けるが、やはりその差は徐々に縮んで行く。最早逃走不可能……

「ママ～！」

ポンツ

1stステージ残り時間32分17秒

スネ夫確保

残り13人

「う、ウソでしょお……？」

嫌われ者、此処に散る……

プルルルルル　プルルルルル

「何だ、メールだぞ……『タワー付近にてスネ汚確保、残り13人』何だ、スネ夫か。別に大した問題じゃないな……」

流石は蒼い悪魔である。

「むしろ邪魔者が消えたな……」

と、スネ夫が消えた事を喜ぶドータクン。

其処へ……

「おお、あれが鈍足ドータクン……奴はカモだ！」

またもや黒い影……

「え、ちょっとふざけんなwww」

急いで逃げ出すデータクンだが、素早さ種族値33の彼にハンターを撒ける筈が無い。最早逃走不可能……（またか）

ポンツ

1ステージ残り時間31分22秒 ドータクン確保 残り12人

「まあ……前回よりは逃げれたかな……って、またこんな早くに捕まるのかよ……畜生……クソッタレ共の牢獄に行くのは嫌だああああああああ！」

鉄壁の耐久積み要塞ポケモン、ハンターの前に呆気なく敗れ去る……

プルルルルル プルルルルル

「またメールか……『新興住宅街一戸建てエリアにてデータクン確保、残り12人』おいおい、ミッションに行く数少ない奴が捕まつてしまつたぞ……」

『コウジーはこの事を危惧する。まあ、この『シモン』は『金の亡者』しかけませんがね……』その後の『シモン』に響くか

「ナレーターはバカだな」

「うるせえよー

「まあ、そんな事はどうでも良こののだが……」

と、此処で『じやあこの件はもうないだろー』と言つ流れになるのはお約束なので、流す。

「おお、あれだ！」

装置の前に戻つて来たマリオとガブリアス。

「ええ…… 429730と……」

ピポパピボビ

暗証番号を入力すると、ロックが解除された。

「「セーの一」」

ガコン！

賞金単価減額装置1台停止 残り1台

これで、賞金単価200円は阻止された……

プルルルルル プルルルルル

「おお、メールだ、『マリオとガブリアスにより、賞金単価200円化は阻止された。だが、このまま行くと、残り20分に1秒の賞金単価は300円となってしまう。金にがめつい諸君等は急ぎたまえ』って私はがめつくないから無理ですよ……」

ヨッシーはメッセージを読みながら突っ込む。

「さあ、後は誰かがやつてくれるのを祈りう……」

と、2人は別れた……

その頃、ミッションに動じつとしているライチュウは……

「邪魔なハンターだな……早くどけよ……！」

と念じるが、中々その場所から離れようとしてくれないのが現実。

すると……一

「……」

何と、ハンターがその付近から離れてくれたのだ！

「よししゃあ……急げ」

大声を挙げずに、ライチュウは忍び足でタワーへと向つて行く。

ミッション終了まで 残り9分30秒

ライチュウが急いでいた頃、牢獄では……

「牢獄データーク」

「おお、マリオとガブリアスがやつてくれたか！流石は金に汚いだけはあるぞー！」

褒めているのがバカにしてるのかどうか分からぬ言葉を放つドータクン。

「おお～」の調子でもう一個レバーを下す。「…」

DDDは気楽そうだ。

それを見ていた西エリアの17人は……

「おお、思ったよりは牢獄はまともでゲスな。陛下が重過ぎるせいで少し暑苦しそうでゲスが……まあ、あのデータクンは浮遊と耐熱両方の特性を持つてるんだから大丈夫でげしょウ……」

エスカルゴンが牢獄を見ながら一言。

「それもさうだが、次は何のミッションが来るんだろうな……俺は強制失格ミッションだと思うが……」

テッカーンは頭を捻りながら次のミッションを予想する。

「ま、どうせあの作者の事だ、ミッション3は兎も角4以降は何も考えてないだろうなwww否、「冗談抜きでwww」

他人事だと思つてバカにしやがつてエルレイド！笑うな！「冗談抜きとか付けてくるから余計にタチが悪いなこいつ等」

「笑つてやれwww」

それに便乗してゲンガーモ作者を笑う。その気になればお前等の首何時でも切れるんだぜ？」

「分かつたよ、笑いませんよー。」

渋タドククラゲは笑うのを堪え、ナレーターの警告を聞き入れた。

「何なんだこのコントは……」

と、横でキノヤマーがホットケーキを食いながら呆れていたところ。

続く

果たして、ライチュウは装置を見つける事が出来るのだろうか！？

「まあ、取り敢えず周囲を探して見るか……」

「タワーっつたってタワーの中なのかタワーの周囲なのかどうか
にあるのがが問題何だよな……」

タワーエリア入口付近でライチュウは考える（悪巧みじやなこよ）。

それでは続きをじりぐれ。

と見せかけて今回はまだ終つませんよ。

今度こそ次回に続く

//シシヨン2 part2 (後編)

//シシヨン終了まで 残り8分

エルレイド「時間過ぎるの遅かつたり早かつたり安定しないなおい！」

//シショソ 2 part 3 (前書き)

何とか投稿。後オチに注目するべし。

//シシリコン2 part3

「つたく……兎に角噴水の付近には無いな……作者め……余計な手間を掛けさせてくれるじゃねえか……」

ライチュウは苛立ちながらもタワーの辺りを捜索する。

その2分後……

「これはタワーに有ると見るべきだな……ん?此処に何か書いて有るや……?」

ライチュウは壁に貼つてある紙を見つめる。すると其処には『タワーと住宅街の暗証番号は違つ』と書かれていた。

「余計面倒臭せえ……兎に角この事をメールで報告だ!」

メールを打つのが妙に素早いライチュウ。

直ぐに、この事についての返信が返つて来た。

『今向つてゐから待つてろー』（ドーラえもん）

『俺様は向つ必要無せそつだなー』（ワリオ）

『俺はもう関係ねえよ~~~~』（ガブリアス）

……口クな返事が返つて来ないのが現実。

ライチュウがメールの返信内容に呆れていた頃
……

「あれ、これってまさか暗証番号じゃあ……」

ヨッシーが偶然商店街の裏路地に張つてある紙を見つける。すると其処には『482526』と番号が書かれていた。

「作者もこんな所に暗証番号を記しておく向てタチが悪いですねえ……」この事を早く伝えなければ…」

頑張つてメールを打つヨッシー（びつりでも良いですが、携帯はスマートフォンではありますん）。

数十秒後、直ぐに返信が来た。

『ダニィ！？感謝するぞヨッシー！俺は今装置を探すのに必死だ！』

（ライチュウ）

『良くやつたヨッシー！ライチュウがあまりに遅いので俺も仕方なくタワーへ向う事にしたぞー』（ワリオ）

『あつがどよー』（アリエモン）

「まともな返事が来て良かったです……わたくしライチュウさんから

口クな言葉が返つて来なかつたつて言つメールを頂きましたから…

…」

因みに、今商店街エリアにはヨッシーとクッパが居る（逆に言えば
その2人（体？）しか居ない）。とんでもないコンビだ…

とまあ、ヨッシーは裏路地で待機しているので、別の視点へ（ry

「しかし、このミッション失敗するかもしれませんな……後5分しか有りませんからな……」

キノじいは状況を分析する。

其処へ、黒い影……

「む、あれはハンター……？」

素早く身を潜めるキノじい。その身のこなし、まるで忍者の様だ。

「何かが今動いて行つた様な……『氣のせいだらうか』……？」

先程ゲ を吐いたハンターは突然キノじいが消えた事を不思議がる。

「む……何かこのハンター、臭いですの……」

どうやら、まだ 口の臭いが残っているらしい。

「私はがめつくれないからミッションには向かえませんからな……」

キノじこせミシショソに向いたい様だが金にがめつくれないので仕方無く諦めた。

その頃、ライチュウは……

「これ、タワーには無いな……」

ライチュウは装置が見つからず、諦めかかる。すると……

『おい、ライチュウ、さつきタワーの近くに小屋が有つたからその扉を俺様の怪力でこじ開けたらその中に装置が有つたぞ！』

ワリオからメールが。

「急げ！」

ライチュウは大急ぎでタワーのエレベーターに飛び乗る。

ニシシヨン終了（賞金単価減額）まで 残り2分

「間に合へ……！」

ピンポン
1階です

エレベーターのアナウンスと同時に、エレベーターの扉が開く。

ライチュウは凄まじい勢いでタワーを飛び出し、小屋へ向う。

ミッション終了まで 残り1分

「此処か！」

小屋に辿り着くと、ワリオに手を引っ張られ、小屋に連れて行かれ
る。

「行くぞー！」

ガコン！

ミッションクリア

こうして、賞金単価減額は阻止されたのだった……作者の自論見、
打ち砕かれる。

プルルルルル プルルルル

「メールだ……』マリオ・ガブリアス・ライチュウ・ワリオの活躍
により賞金単価減額阻止、1秒の賞金単価は400円のままである『
あいつ等がやってくれたか……！」

アリスもんは「」の事を喜ぶ。

しかし
……

「チツ……やつぱりクリアされたか……商店街に張つて置けば見つけられないと思ったが……ヨツシーがあそこに居たとはな……」

作者は「」の事を悔しがる。

「で、次のミッションはどうする心算だ？お約束のあれか？」

サイコハロが作者に聞く。

「否、例のあれは2回ステージで出す予定だ。だからまだ考えれないわ」

さり気無く爆弾発言をする作者。

「おー！」

こんな作者にサイコハロが突っ込んだ所で、話を戻す。

見つかった……

「確実にあの体型はドラえもんだな……」の辺りに鼠も居ないし、此処で消えて貰うとするか!」

其処へ、黒い影……

好い加減な作者に憤るドラえもん。

「それにしてもこの逃走中、急に時間が経つたり経たなかったりややこしいんだよな……これもあの作者が好い加減なせいでの!」

「ゲ！あれってハンターかよ！？」

ドラえもんは直ぐにハンターに気が付き、逃げる。

「ヤバイヤバイ！」これでは僕の夢が！」

必死に逃げ続けるドラえもんだが、その差は縮まるばかり。最早逃走不可能……

「ぎゅうえーっ！」

ポンッ

1stステージ残り時間17分24秒 ドラえもん確保 残り11人

「つおおおおおお……！俺のドラ焼きいいいい……！」

22世紀の猫型ロボットも、ハンターには敵わない……

プルルルルル プルルルルル

「また確保情報か……？」『金の塔20階にてドラえもん確保、残り11人』段々減ってきたな……でもこの調子だつたら結構2ndに進める奴の方が多いそうだな……まず作者はそんな事させないだろうが

と考えるクッパ。

しかし、その読みは的中する事となる……

何故なら……

「あれはクッパか……？」

近くにハンターが居るからだ……

「む……？あれはハンターだと…？」

クッパもハンターを見つけ、一田散に逃げ出す。

「待てい！」

頑張つてクッパも走るが、幾らのび犬やドータクンより速いとはいえ激遅グループで有る事に変わりは無い。最早逃走不可能……

「ぐわー——つ！」

ポンッ

1stステージ残り時間15分43秒 クッパ確保 残り10人

「な……何故ワガハイが……」

何気に金持ちなツンデレ大魔王、此処に散る……

ブルルルルル ブルルルル

「ちょ wまたメールつて wwwアリエナス www『商店街にてクッパ確保、残り10人』おい……この減り具合は異常だろ……」「

ライチュウはこの逃走者の確保速度を疑う。

その頃……

「クッパの甲羅のトゲってこんなに痛いのかよ……」

ハンターがクッパのトゲで手を痛めていたとさ……

続く

//ミッション2 part3（後書き）

次回予告

遂に1stステージも最後に差し掛かった所で、1stステージ最後のミッションが東エリアの逃走者に襲い掛かる！

果たして、このミッションをクリアし、2ndステージに進む偉大な逃走者は誰か！？

次回、『//ミッション3 part1』//つい期待！

//ミッション part 1 (前書き)

遂に1stステージ最後のミッションが始動！

↖??.??.↗

「セヒ……次の//シ・シ・ン、どうするか……今回の中盤までには決めなければな……面白いなあ……作者の無い知恵を絞つて考えなければならんとせ……」

サイコハロよ、そんな事を言つんじゃない。お前も首にしたい所だが、返り討ちにされそうだし、そもそもお前を抜いたら作者の小説の魅力が減るので止めておいたりじやないか。

「上からの田線のウザいナレーターだ……」

ナレーターに暴言を吐くサイコハロ。流石は丸い悪魔、暴言はお家芸と書つた所か。

「うるせえよーお前燻製にしてやるつかー!?」

では、そこそこ悪い事サイコハロと喋つたので、西エリ亞の逃走者を見て見よう。

「 ょう W無視すんな W」

「 流石は金の亡者共、やつてくれたなー。」

エルレイドがどういともとれる発言をする。

「あいつ等ならやつてくれると思つていたがやつぱりやつてくれたか！流石は金の事しか頭に無い連中ばかりなだけはあるー。」

ゲンガーも同じ様な事を言つて。お前等仲良いだろ。

「まあな。俺らは結構仲良いよ？これ豆知識な

そんな事を解説してくれるドククラゲ。言つちや悪いが本当に超が付く程の豆知識ですな。

「まあ、次はぜひせ作者、強制失格でも出すんじゃないのか？」

ワルイージは今回のミッション内容を考える。

「だらうな。あの適当作者の事だ、そつに違ひないー。」

ジャイアンもそれに同感の様だ。

「だなwww

……もうこれ以上会話書いても同じ様な内容になるので省略！

「作者はそろそろショットを考へ付いたか……？出すのなら早く

ガブリアスが腕時計を見ながら呟く。

「ああてと、そろそろ1shotステージも終わりに近づいて来たな……」

出して欲しい物だ……」

そんなに作者を急かすな、ガブリアス。

とまあ、そんなやり取りをナレーターとガブリアスがしてゐる頃、この男は遂に……？

「よつしゃー決めたぞ、次のミッションは最近良くあるあれだ！」

その頃、サイコハロは遂にミッションを決定した様だ……

「さあ、これで15セステージのミッションは最後だな……」

サイコハロは背伸びをしている……

<牢獄>

「お～い、口クでもないクソッタレのお前等にクジを引いて貰おつ
と思つてな」

行き成り牢獄の前にリグ・リングが現れた。

「うぬせえよー…2つ引けば良いんだなーそりよー。」

ドリエもんが引くと、其処には『出木杉』、『キノじい』と書いて
あつた……

これが、ミッションを左右する轟となる……

<??.?.?.>

「ほお……貴重な人材を引いたなあ……じゃ、メール送るか！」

ポチッと

サイコハロは、逃走者にミッションのメールを送ったのだった

プルルルルル プルルルル

「何だあ、またミッショソか……『ミッショソ』牢獄の人間による籠引きで出木杉とキノじいが選ばれた』それで？」

「『彼等は残り5分になると強制失格となつてしまつ。阻止するには全員の指紋をタワー・エリアにある装置に認証しなければならない』ミッショソに行つてくれる貴重な奴等が消えるつて事か……」

最低だな、ライチュウとガブリアスは。

ミッショソ 選ばれた逃走者の強制失格を阻止せよ！

牢獄者によつてクジ引きで選ばれたキノじいと出木杉。

彼等は作者によつて残り5分になると強制失格となる。

阻止するには出木杉とキノじいを含めた全員の指紋を認証しなけれ

ばならない（出木杉の場合は本人と他の逃走者5人が認証した時点でクリア。キノじいの場合も同様）。

しかし、装置が設置してあるタワー20階は、残り6分に閉鎖される為、急がなければ2人は失格となる（つまり、実質残り6分までにクリアしなければならない）。

後、何処かにある宝箱に入っているカードキーを使えば残り6分に20階の扉が閉鎖されても扉を1分だけ開く事が出来る。

因みに、最後の1行の事は逃走者には知られていかない。つくづくタチの悪い男である。

「ちよ待てよwww//シション行く奴全滅するぞwww」

エルレイドは笑うしか無いのか、大爆笑している。

「どうでも良いんだが俺は捕まる時は全く//シション行かない奴を
……ねつと、これ以上は言えないな」

何か良からぬ事を企てているゲンガー。

「俺は一応エスパートタイプだからな……お前の考えている事を読み
取つてやろう……何じゃこりゃああーー黒い物体に囲まれて考え
が読み取れん……」

一応エスパートタイプのエルレイドはゲンガーの企てている事を読み
取ろうとするが読み取れない。

「そんな無駄な事は止める。作者に今回が長く見せる為に利用されてしまつた」

ドククラゲがエルレイドが行つてこる心の読み取りを止めやつす。

「まあ、それもやつだな……」

ドククラゲの言つ通り、エルレイドは心の読み取りを止める。

「それにしても兄さんしぶとく生き残つてるなあ……」

ルイージが喋る。

「「向氣にお前もやつ氣無く毒舌だな……」

上の口調に突つ込む安雄とジャイアン。

まあ、この後会話を書いてもどのような内容になるのかは目に見てこるので今回はこれ以上は書かない！（多分）

「面倒臭い……まあ、ミッション行く奴が減つたら困るしな……」

「んでもない理由でミッションに向うガブリアス。お前みたいな奴は1stステージ中にとつととくたばれ。」

「うるせえよクソナレーター！お前がクタバレ！」

「何を言つがークタバレって言つた奴が先にクタバレ！」

「クタバレクタバレクタバレクタバレアホナレーター！」

(ナレーター交代) 何と言つ醜い争いだ……

「取り敢えずタワーに急ぐとするか……」

タワーへ急ぐガブリアス。

しかし、其処へ黒い影……

「ゲ……ハンター！？」

ハンターに見つかったガブリアスは急いで逃げ出す。

「データクン以外まともな奴が居ない牢獄は嫌だよーー！クソーー！俺
はこれでも素早さ252振りしてあるんだぞ！」

何と、ガブリアスはハンターを上手く撒いた様だ……

「チツ、撒かれたか……」

ハンターは舌打ちをしながら、別の場所へと歩いて行つた……

「しかし、今追いかけられたせいでタワーから離れてしまつたな……
……面倒臭！」

そう思いながらも、ガブリアスは再びタワーへと歩いて行く。

「タワーの何処に装置が有るんだよ……！作者は何時もこんな所『だけ』を隠すからな……タチが悪い……！」

と小声で毒づきながらも、ワリオは装置を探す。

「うむ……前回の事だ……作者はミッション終了1分前になると装置の部屋閉じるとかしそうだな……と言つ事は実質残り6分までにミッション片付けなければならないのか……何て奴だ……！」

ライチュウは作者に恐怖する。

「さつきタワーの21階か何処かにこんな張り紙がして有つたな……『』のタワーの地下、宝箱眠る』それを探すか……！」

勘と記憶力の良いライチュウは、タワーの地下を目指すのだった……

しかし、他の逃走者は残り6分になると鍵がないと20階に入れない事に……（ライチュウはこの事を知らせていません）

果たして、ミッションをクリアし、出木杉とキノじいを助ける事は出来るのだろうか！？

続く

//シション3 part1(後書き)

因みに、私は思いつきで//シションを決めてます。そんな風に決めてるので、それが原因で更新が遅れる事もしばしば……御免なさい。

//シニア part 2 (前書き)

もし、逃走者の数え間違いをしていたら分かり易く作者に教えて下さい。作者は頭があまり良くないので……

「西エリア」

「ライチュウつてこんなに勘と記憶力が有ったのか……凄げえな……俺にはそんな事記憶出来ねえよ……」

ジャイアンはライチュウの記憶力を褒める。安心しろジャイアン、作者も昔は良かつたって周りから言われてたけど今は大したことないからw

「だな……」

それに同感する安雄。

「あいつにそんな能力が有ったとはな……そんな事が出来るとは思えんが」

キノヤマーは何か裏が有ると探る。まさか作者が記憶力を上げたとか言つんじゃないでしょうな?

「そのままかだ（爆）」

その質問はなしで。

「へつ…………」の質問が不発に終るとほ…………そんなバカな…………

不発となつた質問の事を悔しげるキノヤマー。

まあ、それはさておき東ヒリア…………おっと、その前に…………

「？？？」

「サイコハロ。感想の返信は順調に出来てるらしいな……後、最後のミッションまでの内容を少しほそえておいたぞ。今からそのデータを送らせて貰いつ」

作者がサイコハロにデータを送ると、其処にはこう書いてあった。

『MISSION 4 を ! MISSION 5 を ! MISSION 6 を !』

超伏字だらけだが、超能力者なら分かる筈。

「決してアレな意味では無いからな！」

と作者が釘を刺す。

「どううな……」

サイコハロもその事を分かつてゐるらしい。

「じゅあ、頼むわ」

ピッ

いつして、作者からの通信は切れたのだった……

さて、そろそろ本題の東エリアを（ry

「地下に階段が有りそうな物だが見つかんなあ……これはお約束の隠し階段とか言つのか?」

ライチョウは地下へ降りる階段が隠して有る事を予感する。

「ん、これは……でかい石が露骨に設置して有る……これは隠す
やうな……」

よこいちらじょーとライチョウは石をどうかる。

すると、へむせ

「おお、ハシゴがー

隠し階段ならぬ隠しハシゴが現れた。

「よつしや、降つるぞ……」

ライチュウは隠し梯子を降りて行く。

其処には……

「うわ……此処は牢獄として使われていた場所なのか……？」

其処には、周囲に死体がごろごろ転がっていたのだ！

「うつ……一異臭が……一早く宝箱とやらを見つけて此処から出よ
う……」

この場に長く居るのが危険だと察したライチュウは宝箱を更に必死になつて探す。

すると……

「あれか……！」

宝箱を見つけたライチュウ。

早速中を開けると、髑髏マークが書いてあるカードキーらしき物が一枚入つて居た。

「これかー。ああ、早く此処から抜け出すぞー！」

ライチュウはポケットにカードキーをしまうと、急いで梯子の有る場所まで帰り、地下から脱出したのだった……

「おええ……死ぬかと思った……」

何はどうあれ、ライチュウ、カードキー獲得

「さて、20階に向づとするか……」

急いでエレベーターに乗り込むライチュウ。

その頃……

<ゴールドタワー20階>

「これに指紋を認証するんですね……あれ、手が無い人はどうする
んでしょう?」

そう考へながら、ミッキーは指紋を認証。

ピー……ピッ

ミッキー ミッションクリア 残り9人

「さ、早く此処から脱出しよ……ってうわあー！」

行き成り、ライチュウが装置に突っ込んで来たのだ！

「ひづだな！」

ピー……ピッ

ライチュウ ミッションクリア 残り8人

続いて……

「おお、これがこれが！」

ガブリアスと出木杉とマリオが20階に到着。

ピー……ピッ！×3

ガブリアス 出木杉 マリオ ミッションクリア 残り5人

後1人が指紋を認証すれば、出木杉の強制失格は免除される。更に、後5人が認証すれば、キノじいを救出する事も出来、これでめでたくミッションクリアとなる。

しかし……

「チイツ、ハンターが今此処から離れれば直ぐに向つ物を……」

そつは簡単にクリアさせてくれないのが作者。

「大体何処に装置が有るんだよ……それを教えないから作者はタチ
が悪いんだよな……」

ハナクソをほじりながらタワーの何処に装置が有るのかを探すワリ
オ。

「ええい……作者め……一體何処に装置を隠した……！」

と、何時の間にかサイコハロが勝手に行っていたクジ引きで復活し
ているクッパ。

実は数分前……

『お前等、突然だがまたクジを引け。当たりが出た奴は復活出来るぞ』

勝手に牢獄で行われていたクジ引き。

其処で……

『良し！ワガハイが当たったぞ！』

クッパが当選したと言つ訳だ。

プルルルルル プルルルル

「メールだ……『勝手に牢獄で行われていた籠引きによりクッパ復活』あいつが帰つて来ても今更なあ……」

マリオは『何でやねん』と言いたげな顔をする。

その頃……

「おお、此処がタワーですか！先程マリオ殿から装置は20階に有ると書いてありましたからな！」

ワドルドウは急いで塔へと駆け込む。

エレベータを待つワドルドウなのだが、中々こない。

しかも30秒も待たされた……

「おお、来た！」

ワドルドウは大急ぎでエレベータに乗り込む。

ウイイイイイイイン……

ガチャツ！

アナウンスと共にエレベーターの扉が開く。

「おお、あれですか！」

ピ一……ピッ

ワドルドウ ミッシュョンクリア 残り5人（クッパが復活したので）

「さあ、帰ろ〜」

こうして、ワドルドウはエレベーターで降りて行ったのだった……

まだミッションをクリア出来ていないのは5人。

果たして、キノじいと出木杉を助ける事は出来るのだろうか！？

次回、ミッションの結末！

てな訳で続く

//シション3 part2(後書き)

次回、1stステージ終了！

逃げ切り2ndステージへの切符を手に入れるのは誰だ！？

1stステージ終了！（前書き）

遂に1stステージ終了！2ndステージへの切符を手に入れるのは誰だ！？

1stステージ終了！

ワドルドウが塔から出て来た頃、この町は……？

でんぢやうじさんだ。

其処へ

「ん、何だこの大声は？さてはじ～さんだな……？」

黒い影……しかも、見つかっているWWW

「む、あれはハンター！？」

じへさんは野生の勘（！？）で危険を察知したのか、逃げ出す。

「待てーーお前を放って置くと口クな事が起こらんしい」のゲームに
師匠……じゃなくて支障が出る可能性が有るーだから此処で消えろ
！」

結構無茶苦茶。そんでそんなに無茶苦茶でもない理由でじーさんを追跡するハンター。結構筋が通つて……無い。

じへさんは自慢の足で逃げ続けるが、その差は縮まるばかり。最早逃走不可能……

ポンツ

1ステージ残り時間9分53秒 じょさん確保 残り9人

じへさんは再び逃げ出たつとするが、スタッフのベテランに捕ま
る。

「はいはい、おとなしく牢獄に向かひね

プルルルルル
プルルルルル

「メールだ……まさかミッションクリアじゃないだろ……『タワー

から900m前でじ～さん確保、残り9人。因みに、確保された後再び逃走しようとしたのでスタッフが取り押された『流石じ～さんだな』

クッパはじ～さんをバカにすると、携帯をしまった……

その頃……

「此処か！」

ピ一……ピッ！

ミコウツー ミッションクリア 残り3人

これで、ミッションをクリアしていないのは残り3人となつた。

しかし……

「む、あれは……何だと…？」

ハンターを見つけたミュウツー。

勿論慌てて逃げ出しが、最速でもない彼の足でハンターを撒ける筈が無い。最早逃走不可能……

「ちよ　ｗｗｗ待て　ｗｗｗ」

ポンッ

1stステージ残り時間8分34秒 ミュウツー確保 残り8人

「何も活躍出来ずに終るとは……無念！」

あれ、意外と潔いよこの人。

プルルルルル　プルルルルル（ｒｙ

今回の確保情報は執筆時間の都合で省略する。

「おお、あれか！俺様二ンニクパワー全開で20階に向うぞー！」

ワリオは屁の勢いで走るスピードを加速させ、20階へと向つ。そして……

「やつらがやつらが」

一ノリ

ワリオ ミッションクリア 残り2人

ミッション終了まで 残り2分

このままでは、キノじいは失格となってしまう……

「これですな～～～～～！」

ダダダダダダダダダダ！！

本気で走るキノじい。そんな所で体力を消耗させて大丈夫なのだろうか……心配だ。

その30秒後……

「ハハですかー！」

ピ一……ピッ！

これ以上ネタが浮かばないのでモハシ・ションクリア

こうして、2人の強制失格は逃走者の活躍により阻止されたのだった……

プルルルルル　プルルルル

「おお、メールだ……確保情報じゃないだろうな……？」逃走者全員の活躍によりミッシショングクリア、出木杉とキノじいの強制失格は阻止された……『やつてくれた！やつてくれたぞ！』

ガツツポーズをするライチュウ。

其処へ、黒い影……

「あのしつぽは……ライチュウだな！」

見つかった……

「ゲ！ハンターだと！？」

ライチュウは中々面白いポーズで走るが、特別早いわけでもない足でハンターに敵う筈が無い。最早逃走不可能……

「あべしつ！」

ポンッ

1stステージ残り時間5分27秒 ライチュウ確保 残り7人

「嘘だろ？？」

残念だが、全て事実である……

プルルルルル プルルルル

「またメールだと……？『あつさりタワーの付近でライチュウ確保、残り7人』ヤバいな……此処からだと俺様も狙われるか？」

ワリオはハンターを警戒してタワーから離れようとするが.....

「此処から離れる心算だつたが、それにはせんぞ……」

後の祭りだつた

「え、ちよ、ま

行き成りの事だつたので逃げる筈も無く……

はこれがやりたかったから俺様を確保したんだろうーーー！」

ポンツ

1stステージ残り時間4分32秒 ワリオ確保 残り6人

プルルルルル プルルルルル

「メールだ……『ワリオ確保、残り6人。更に、クッパが不正で復活した事が明らかになつた為、失格。更に、作者は逃走者の数え間違いをしていた疑惑が掛かっている』作者遂に自虐ネタやり始めたW-

まあ、理由は説明するまでも無いだろう……

そして、時間は過ぎ……

「後一寸で2nd行きだ！」

30 29 28 27 26 25

24 23 ...

10

「お、メールだ！」マリオ・ヨッシー・ガブリアス・キノじい・出木杉
木杉・ワドルドウが1stステージを逃げ切り、2ndステージ進

プルルルルル プルルルル

マリオ ヨッシー ガブリアス キノじい 出木杉
1stステージ逃走成功 2ndステージ進出
ワドルドウ

0!

1

2

5

6

7

8

出となつた。これより西エリアの諸君はこの6人と共に130分を逃げまくれ』 おおー！出木杉とキノじいが残つたのは頼もしい！！』

この結果に西エリアの17人は大喜び。

次回、遂に2ndステージスタート！

果たして、130分間を逃げ切り、賞金444万円を獲得するのは誰だ！？

1stステージ終わり、2ndステージに続く

1stステージ終了!（後書き）

次回予告

遂に2ndステージの火蓋が切つて落とされた。

しかし、130分間のゲームが始まつて早々お約束の通達が……（
分かる人は分かる筈）

2ndステージスタート！（前書き）

遂に2ndステージ開始！

2ndステージスタート！

1stステージの55分間を逃げ切ったマリオ、ヨッシー、ワドルドウ、ガブリアス、出木杉、キノじいの6人。彼等は、西エリアの17人と共に130分間の2ndステージを戦う。

「俺はこのメンバーが残ってくれたのは嬉しいな！」

エルレイドは残った6人に喜ぶ。

では、西エリアの説明をしよう。

この西エリアの最大の特徴は、王の住まつ宮殿がある事だろう。

他は△の住宅街エリアと城下町エリアと高層マンションエリアがある。

ハンターは5体で、賞金単価は400円のままスタートとなる。

各自は好きな場所からゲームを始める事が可能だ。

そして……

10

9

8

7

6

5

4

1

2

0!
!

遂に、2ndステージの火蓋が切つて落とされたのだ……同時に、賞金も132万円から400円加算され始めた……

「僕逃げられるかな……」

弱虫リア充のび犬はハンターを警戒する。リア充爆発しろ！

しかし、その願いは……

「おお、あれがリア充か……」

碎かかる……

しかし、彼は後ろからハンターが迫っている事に気付かない。

「え、わー！」

今更気付いて逃げ出すのび太だが、後の祭りである。しかも、クッパより足が遅いので、なお更だ（まあ、テツカニン程じゃないと撒けませんがねw）。最早逃走不可能

「ドッ、ラッ、えつ、もつ、ん~！」

2ndステージ残り時間129分8秒 のび犬確保 残り22人

「そんなんあ……あんまりだあ……」

爆発。

プルルルルル プルルルル

「ちよつ、もう確保情報か。『背後からひつそり近づかれのび太確保、残り22人』ま、あんな奴が捕まつてもそんなに差し障り無いだろう……」

あつさりリア充のび犬を切り捨てる安雄。まあその通りなのだが。

「のび犬が捕まつたのか……まあ、全然影響は無いわな。あんなヘタレバカ弱虫リア充が捕まつてもwww」

安雄以上の暴言を吐くエルレイド。

その頃、この場所では……

サイコハロは左手でDOSの十字キーを動かしてズイマラソンをして

<??.??.>

「早速確保者が出了か……まあ、あんな奴が捕まつても全く関係ないし、元から22人もアテにしてなかつたから良いだろう……通達も今回の最後の方に出すか……さ、厳選厳選」

いる。こいつポケモン廃人だつた様だ。

「お、6Vめざパ威力70ktrwww」

こいつ、ゲームマスターの職放つたらかして厳選に夢中だ。

「おつと、ポケモンの厳選も良いが、ミッション、何時頃出すかな
……次回にするか」

こうして、再びサイコハロはマグカルゴと卵5個を抱えてズイマラソント再開した……（後この人、最初の御三家は猿にしたらしいよ）

では、こんな奴はさておき、逃走者は……

「しかし……1stから続けて逃げるのはキツいな……」

マリオは先程の1stステージで体力を消耗している様だ……

其処へ、黒い影……

「ゲ……ハンター……」

物陰に隠れているマリオ。

幸い、ハンターには気付かれなかつた様だ……

「おお、ラッキー……」

マリオは胸を撫で下ろす。

すると……

プルルルルル プルルルル

「何だ、メール……？』通達1、これより、お約束の裏切り者を募集する。裏切り者になつた逃走者は、ハンターに逃走者の位置情報を伝え、その逃走者が確保された場合、賞金に10万円がプラスされる。ただし、確保されるとその賞金はゼロ、ついでに通報した奴等に逆襲されるので気をつけたまえ』絶対この通達有るよな……」

通達1 裏切り者募集！

このシリーズで恒例化した裏切り者募集通達。ルールは勿論逃走者の位置をハンターに通報すれば賞金に10万円がプラスされる（自首をした場合はその時点の賞金プラス通報した人数分の金額が獲得出来る）。但し、ハンターに裏切られる形で確保されると賞金は当然0、更に牢獄では通報された者にボコボコにされると云うデメリットも有的なので気をつけるべし。

「もしもし、サイコハロさん？ワルイージですけど、裏切り者になります」

『ああ、5秒前に他の逃走者がなつたからひつ駄目だよ。残念でした』

ピッ　ツー……ツー……ツー……

どうやら、またしても裏切り者が現れた様だ……

「さあ……誰から潰して行くかな……まあ、ミッションに絶対行かないみたいな奴から消して行くべきだな……」

裏切り者は良からぬ事を企んでいる……

一方……

「これが逃走中か……」

ジャイアンは3の口で呟く。

「懲々 1st から勝ち上がって来たんだ、絶対逃げ切つてやる……
自首はしないぞ、多分な」

ガブリアスは『多分自首しない宣言』をする。曖昧な奴め！俺はそ
んな奴が大嫌い何だよ！

「私が 1st ステージを生き抜けたのは運だろつか……」

辺りを見回すワドルドウ。

「今度こそは逃げ切つてやるでゲスぞー！」

エスカルゴンは逃げる気満々である。

それを見ていたゲームマスターは……

↖ ↗ ↘ ↙ ↛

「全員自信満々じゃないか……そつござれば作者、次回の逃走中の案
が少しさは浮かんだと言っていたな……まあ、今はそんな事どうでも
良いがな……フフフ……今回の連中、どうこのゲームを動かすかな

……」

サイコハロは左手で十字キーを動かしながらモニターを見つめている……

すると……

「おいおい、サイコハロ、厳選も良いが、ゲームマスターの仕事もやれよな？後、裏切り者はどいつになつたんだ？」

突然モニターが作者の顔に切り替わる。

「ああ、……………ですな。それにしても、あいつが立候補してくるとは驚きだ……」

作者はその人物が裏切り者となつた事に驚きを隠せない様だ。

「全くだな……俺はライチュウやゲベかと思ったが……」

それだと全く捻つて無いからじゃないのか？

「ゲベはそいつの2秒後に言つて来ましたがな……やつぱりあいつ
は猫じやないよ……」

確かに、サイコハローの言つ通りだ。多分あいつは宇宙生物だらう……

「じゃ、そろそろ切るが」

「ピッ！」

作者が通信を切ると、モニターは西エリ亞の風景に切り替わった……

「俺的には5人は通報して欲しい物だが……あつさつ捕まると言つ
のもそれはまた面白いな……」

この男、何処まで逃走者を弄ぶ心算なのか……

「うん？あれってハンターじゃ……ヤベエ！」

ゲンガーはハンターを見つけその場から走り去る。その音に気付いたハンターもゲンガーを追跡する。

果たしてゲンガーはハンターから逃れる事は出来るのか！？

良い所で次回に続く

2ndステージスタート！（後書き）

＜牢獄deトーク＞

クッパ「また裏切り者か」

データクン「こればっかりは作者が好きだからしちゃうがないだろ…」

…

ドラえもん「だな……それにしても誰だらうな、裏切り者。俺は意外と安雄辺りが怪しい気が……」

クッパ「此処は王道でマリオだな……」

今回の牢獄トークはこれで終了。

//シニア4 part1(前書き)

ポケモンプラチナのせいで更新が遅れてしまった……

w

「ヤバイって！これは冗談抜きで！」

ゲンガーは曲がり角を曲がりまくつて逃げ続ける。

「ん？ あいつ何処行つた……？」

どうやら、上手く撒いた様だ……

「危ない危ない……逃走中程心臓に悪いゲームは無い……まあ、サンとかバオーーとか有るのは有るけどな……とか言ってたらかゆうまを思い出したwww」

別の話をスタッフにし始めるゲンガー。

「ああ、そうだね……俺もかゆうまはやった事有るよ……あれ難しかつたなあ……」

スタッフのアーボックもゲンガーと意氣投合。

もうこんな奴は放つて置こう。

「それにしても今回の//シション、俺はエリア縮小辺りだと想つ……」

//シジョンを予想するドククラゲ。

「ああ、俺は知らないよ?」

スタッフのマルノームは知らんふりをする。と言つたスタッフ毒ポケモン多すぎwww

「あ、他にも毒六愚とかドラピオンとかクロバットとかもスタッフになつてゐるぞ」^{ドクロッグ}

どんだけ雇つた奴毒ポケ好き何だよwwwフードイン送り込むぞwww

「キヤーーラピオンをへん噛み碎くで返り討ひこじてやつてくれ

~」

はいはい、いつまちダクトリオで先制とつて地震で返り討ちにするからね。

「おこ、もうこの会話をうらんだろ~~~~作者にこの事利用されるから止めとけ止めとけ」

ドククラゲがマルノームに忠告する。

「だな……後雇った本人は『毒ポケの耐久力を悔って欲しくないの
で』って事で俺等を雇つたらしいな。まあ、丁度自宅警備員状態だ
ったから丁度良かつたけど~~~~」

マルノームは語る。

「おい、あんまし笑うな……ハンターに気付かれるぞ……」

触手でマルノームの体をポンポン叩くドククラゲ。

「だな……」これ終つたら酒に飲みに行くか

勝手に意氣投合するドククラゲとマルノーム。

幸い、ハンターには気付かれずに済んだ……

その頃.....?

<????>

「おい、サイコハロー.....これから逃走者をビリする心算だ.....『デイバイン・カミング・ダウ...ン・ハードオン』計画はどうなつている！ポケモンの厳選してる場合か！」

謎の男が怒鳴る。因みに、いつも厳選中である。

「人の事言える立場か……？それはその内行うぞ……。つつゝかそん
な厨一臭い名前付けるなよ……。作者は受け狙いでやつてるだろうけ
ど……」

「尤もな事を言つサイコハロ。

「俺が知るか！あの計画の名前付けたのはウケ狙いでも作者何だよ
！俺に文句言つくな！あ、ミーリュウ6\ktkr、性格も良い奴だ
！」

「うるせえな……。ウザいからさよなら、後、計画の名前は厨一臭く
したいなら『ディバイン・ジャッジメント』に変えとけって言つと
いてくれ」

「あ、ちよつ、おま」

「ブチツ！」

無理矢理サイコハロは通信を切断する。

「俺はエピローグまでこの事を喋りたく無かったんだけどな……まあ、こうなつてしまつた以上は仕方ない……それに、逃走者にはこの事はバレていなかつる……」

この逃走中、やはり裏で何かの計画が動き始めている様だ……

「また全滅してくれるかなーさ、ミッション送るか」

……クソッタレが。

プルルルルルル プルルルルル

「メールだ……！」王の宮殿とSD住宅街エリアにエリア縮小装置を設置した。残り110分になると王の宮殿とSD住宅街エリアが封鎖され、エリアが文字通り縮小されてしまつ。当然封鎖される際にそのエリアに居る逃走者は強制失格となる。阻止するには、エリア縮小装置を探し出し、同時に両エリアの装置のレバーを下ろさなければならぬ『ちょ wwwめんどくせ www俺は行かないからな wwwつづーかこのミッション前にも有つたよな』

くたばれゲンガー。

ミッション4 エリア縮小を阻止せよ！

サイコハロによつて王の宮殿とSD住宅街にエリア縮小装置と言つ無駄に長い名称の装置が設置されてしまつた。残り110分になると両エリアは封鎖されてしまい、封鎖される際にそのエリアに残つていた哀れな逃走者は強制失格となる。これを阻止するには両エリアに隠してあるエリア縮小装置を見つけ、『同時に』レバーを下ろ

さなければならぬ。因みに、此処だけの話だが、装置は扉の閉まつた倉庫に隠されており、簡単には見つからない様になつてゐる。流石はサイコハロ、毎回逃走者を苦しめる//シションを出すだけの事は有る。

「//シジョンねえ……今俺様はSDHリアに居るけど、行かない

行き成り行かない宣言をするジャイアン。

其処へ……

「ん……？あればジャイアンか……もしもし、ジャイアン、SD住宅街エリアの木陰に潜んでござるが」

裏切り者だ……

「了解だ」

密告を聞いたハンターは急いでジャイアンの確保に向ひ……

「わかつて……早めに此処から離れるとするか……」

通報すると直ぐに裏切り者は別の場所へ身を潜める……

「ゲー！あれはハンター！？」

脅威の視力でジャイアンはハンターを見つけ逃げ出す。

「逃げ出したか……だが、もう手遅れだつたな！」

しかし、最初からジャイアンに向け走っていた事とジャイアン自体足がそんなに早く無い事もあり、その差は縮まるばかり。最早逃走不可能……

「か～ちゃん～！」

ポンッ

2ndステージ残り時間122分8秒 ジャイアン確保（裏切り者

通報） 残り21人

「畜生……俺が何でのび犬と同じ位の時間で捕まらなきゃならないんだ……！ハンターめ……後でギッタンギッタンにしてやる！」

ジャイアンよ、そんな事をすればお前は逃走中から永久追放だぞ……

プルルルルル プルルルル

「こんな時にメールかよ……『裏切り者通報によりジャイアン確保、残り21人』裏切り者が動き始めたか……ガクガクブルブルってビビっててもしようがないわな……俺はミッション行かせて貰うぞ!」

裏切り者にビビりながらもミッションに向う安雄。何処ぞのRさんは大違ひだw

「行くしかないだろ!」

「行かなれば人間失格だ!」

「行つて置きましょう……」

「これは行くしか有りませんな……」

「行こう!」

エルレイド、静香、キノックル、キノじい、出木杉がミッションに
向う様だ……

しかし……

「ミッション? 何それおいしいの?」

「俺は金が絡まないと行かないと何回言わせれば済むんだw

「ミッションですか…… 今は止めて置きましょう」

「はいはい、行かない行かない

「絶対行かないw」

一方、ガブリアス、ゲンガー、ヨッシー、マリオ、ドククラゲの5名は行かない表明。駄目だこいつ等、早く何とかしないと……

ミッション終了まで残り1分30秒、果たして、エリア縮小を阻止する事は出来るのか!?

続
く

<?·?·?·>

サイコハロー「お、これは『改造ポケットモンスター・テラカオス』じゃないかWエメラルドも吸い出してあるし、色々手順踏んでやるか！」

おい、ゲームマスターの仕事をサボるな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4696x/>

逃走中in金の町

2011年12月19日20時53分発行